

コロンブスによる新世界の描写

(Robert N. Bellah 『破られた契約』、未来社、1983年、34—35頁。)

この島や、私が発見して情報を得た他の島々の住民は、男女とも生まれながらの状態です。裸で歩き回っている。ただ女たちのなかには、木の葉か木綿であんだ網で局部を覆っている者もいる。ここの住民は、鉄も鉄鋼も武器も持たぬばかりか、それらの使用に適した人びとでもない。その理由は、彼らの体格が悪かったりきゃしゃだったりするからではなく、非常に臆病だからだ。彼らは、さとうきびをまだ若木のうちに刈り取って、その先端に小さな尖った棒をつけた武器しか持っていない。…彼らは非常に正直で、そのすべての所持品を惜しみなく与えるので、本当にそれを目撃した人でなければ信じられないほどである。もしその所持品を求められたなら、決してそれを断らないばかりでなく、進んで分かち合い、まるで彼らの心を分かち与えるような深い情愛を示すのである。…そうかといって彼らはとくに何かの信条を持っているわけでもなく、また偶像を礼拝しているわけでもない。ただ彼らのすべてが、天には力と善が存在しているということだけを信じているだけだ。…それは彼らが無知だからではない。それとは反対に彼らは非常に聡明であり、かつ海洋を航海して廻る人びとである。